

# I . 2025 年度事業計画案

2025 年度の重点活動方針として以下の 8 点を実行します。

## 1. 母校への貢献 — 「青山学院万代基金」への協力

青山学院校友会の目的は校友の親睦と母校への貢献であり、その校友には将来を担う在學生も含まれます。母校への貢献として昨年度に創設された「青山学院校友会奨学金」への寄付を今年度も継続して募り万代基金に協力します。

## 2. 校友会活動のデジタル化推進

校友会ウェブサイトでは、校友会のすべての所属団体が自身でウェブサイトを作成できます。今年度は、サイト構築が完了していない団体のページ作成や記事投稿のサポートを充実させつつ、各団体のデジタル担当者同士のコミュニケーションを推進し、デジタル広報委員とデジタル担当者が一体となって、さらに効果的なサイトにするべく検討を進めていく予定です。

また、新ウェブサイトには、マイページ機能と会費徴収システムが組み込まれました。マイページに登録することで新たな情報更新をいち早く知ることができるようになりましたが、まだその登録者が少ないので、より多くの方に認知していただけるようプロモーション活動をしていきます。会費徴収システムについては、利用団体からの希望を伺いながら少しずつ軌道に乗せていきたいと考えています。

懸念であった「あなたと青山学院」の制作・郵送コストの削減に向けても、デジタル化の側面から電子ブック版への移行を本格的に検討します。

## 3. 広報活動の充実

校友会の広報誌として「あなたと青山学院」を学院と共同制作しています。昨年度リニューアルされた校友会ウェブサイトには、電子ブック版の「あなたと青山学院」も掲載されており、それ以外にも校友会所属団体の情報を見ることができます。今年 2 月に新しく校友会の LINE も立ち上げました。現在「あなたと青山学院」は、校友会のウェブサイト、Facebook、LINE からお読みいただけます。今後もより多くの校友の皆様に情報をお届けできるよう、広報活動を一層強化してまいります。なお、本総会資料の裏表紙にある二次元コードから、各広報媒体にアクセスできますので、ぜひご活用ください。

並行して、全国の校友が運営するお店を紹介する「青学商店街」も各媒体を使って校友に紹介してきました。今年度も掲載数を増やして、校友の更なる交流につなげてまいります。

上記の重点活動方針に加えて下記の活動を行います。

## 4. 在校生への支援

### 1) 就職活動支援 — 大学部会と協力して実行

校友会にとって大学在學生は準会員であると共に、将来の校友会活動を担う重要な要員でもあります。その大学生が希望に溢れて社会に巣立っていくために、大学の進路・就職部の指導方針のもと、引き続き多くの校友の協力を得て就職支援等の諸活動に注力します。

### 2) ボランティア支援、スポーツ支援、その他在校生による諸活動への支援

在校生のボランティア活動はサーバントリーダーシップを育み、スポーツの応援は愛校心を高めます。青山祭、相模原祭、文化祭、大学同窓祭など、在校生と校友が交流する機会を捉え、校友会はこれらの活動をオール青山の観点から支援します。また教育の国際化をさらに推進するため、海外支部と連携して学院のグローバル化に協力します。また支部やアイビーグループと協力、体育会系、文化系の学生活動を応援します。

## 5. 校友会活動の活性化

### 1) 次世代委員会

若い人たちが積極的に校友会活動に関われるよう、昨年度「次世代委員会」を立ち上げました。その結果 20 代～30 代の校友による「新緑会」がスタートしました。今年度も「新緑会」に若者の校友の参加を募り、卒業後も母校と途絶えることなく関係が続いていくことで、母校の発展に寄与し、また次世代の校友会を担う校友を育てていきます。

### 2) 青山学院大学同窓祭・青山グリーンフェスティバル

今年度から青山学院大学同窓祭・青山グリーンフェスティバルを大学部会と共催で行うことになりました。校友会として大学部会と協力してオール青山で同窓祭の発展につながるように活動します。

### 3) 部会・同窓会、支部、アイビーグループ活動への支援

充実した校友会活動のためには、その構成団体である部会、学部・学科同窓会、国内・海外支部、アイビーグループの活発な活動が不可欠です。そのため各々の団体と協力し、活性化に繋がる仕組みづくりを目指すと同時に、必要な事業を行います。今年度は特に海外支部の活性化に力を入れます。

### 4) グリーンエリアの利用促進

グリーンエリアの利用が少しずつ増えてきています。リニューアルしたグリーンエリアの設備やサービスを、今年度も校友の皆様にご利用いただき、校友の交流活動の活性化につなげていきます。

## 6. 校友会員データの更新

部会・同窓会と連携し、逐次データの精度を高めていきます。また個人情報保護に配慮しながら様々な情報提供依頼に対応するよう努めます。学院と協力して将来の校友データベースの在り方を検討します。

## 7. 牧師を志す校友への就学支援

牧師、伝道者を志して神学校で学ぶ意志のある校友のために、その就学費用の一部を支援します。2016 年度より施行し、2024 年度は該当者がおりませんでした。2025 年度もこの支援を続けて参ります。

## 8. 校友会の今後について

前述の若い人たちが中心の「次世代委員会」の活動と並行して将来の校友会活動を担う人材の発掘・育成を行い、その人材が活動しやすい環境を整えることを検討します。